

# 私たちにおまかせ! ムラの農業!

～ 岩室小5年生・明日の農業を考える ～

総合学習の一環として村の農業問題に取り組んでいる岩室小5年生が、11月27日、岩室小体育館において研究の成果を発表しました。「米」「野菜」「酪農」と3つのグループに分かれた調査班は、各農家や商店に行き、実際の現場で取材をして色々な問題点を見つけ、ゲストティーチャーとして農家の方を迎え、助言をもらいながら具体的な対応策などを話し合いました。

化学肥料に長年頼ってきたため、農地がやせてきていることを知り、土を良くするために、酪農と協力して牛フンを利

用したり、家庭で出る生ごみや落ち葉、ぬか、もみなどを利用して質の良い肥を作り、田や畑に戻すことを提案。きれいな水でつくった農作物はおいしいという体験をして、セラミックスなどを使う工夫をしたり、川を汚さないようポイ捨てをやめ、家庭から出るわずかな油も流さずに、川をきれいにしようと話し合いました。また後継者問題には、農業が好きで本当にやりたい人をインターネットなどで全国から探す方法を考えたり、地元産の農産物が地元であまり売られていない現状については、もっと良さをみんなに宣伝し、売る場所を増やせばいいと考えました。

いろいろな角度から意見が出た中で、ゲストティーチャーの阿部博喜さん(夏井)は、「私たちには、経験とアイデアがありますが、体力がありません。若い皆さんの良き指導者になりたいので、何でも聞いて、いろいろ実行してくれたらありがたいです。」と話すと、子どもたちからは「いろ

んなところで苦労や工夫がされていることがわかりました。もっと、地元のものが入りやすいように提案し、安全で安心な農産物をたくさんの人たちからわか

ってもらえるよう考えていきたいと思います。」と力強い言葉が返り、次回の授業への発展となりました。保護者の参観もあり、実りの多かったこの研究発表会。次は、地元の農産物を使っての加工品の開発に意欲を燃やしています。



塗るみそも自分たちで作ったもので、その一部は文化祭で売られ、収益金の一部がNHK歳末助け合いに寄付されました。

らないうちは時間をもてあましている。  
\*学力の低下が懸念されるが、現在の教育制度そのものが問題ではないか。現在の受験制度のままであれば、学校での不足分を塾等へ行き、勉強するので結局間に余裕がなくなる。  
\*今後何を可へ事が  
休みを利用して多くの友達と遊ぶことが基本。自然に親しんだりしながら、そのなかで子どもは成長する。

\*地域の中で沢山のメニューがあって、子どもたちがその中から自分にあつたものを選べると良い。  
\*子どもたちに機会を与えてやるのが重要なのではないか。機会を与えてあげなければ何も始まらない。色々なことを体験させ秘められていた力を発揮させる。  
\*もっと子どもの意見を聞き、何を求めているかを知り、その上で何を提供しているのかを考えることが必要なのではないか。



\*学校ばかりではなく地域住民も一緒になって21世紀の子どもたちを育成していかなければ。



▲ステキな歌声を聞かせてくれた子どもたち

楽しそうにペタンペタン餅をつき、できあがったお餅をおなか一杯食べていました。

11月27日、和納小5年生が自分たちで植えた稲を収穫し、出来上がったお米30kgの一部をデイサービスセンターや和納の2つの保育園に配り、高齢者や園児たちと交流しました。  
また先月7日、そのお米を使ってけんさ焼きを作り、みんなで収穫を祝いました。今ではあまり食べることもなくなってきた昔懐かしいけんさ焼き。上に

## 和納小の総合学習で『けんさ焼き』作り



▲デイサービスセンターでお年寄りと交流



\*「充実」の中に「ゆとり」があることが望ましいが、現状ではゆとりが一人歩きしている感じがある。  
\*小学校における子どもたちの生活、学力共に昨年と比べてもはっきりと変化したところは見られない。5日制の基本的な考え方

【良い点】  
\*地域の方を講師に迎え総合学習を進めた。そこに教師も加わって共に学んだことにより、教師の姿勢も変わってきている。子どもたちも楽しみながら成長してきている。  
\*中学生については集中して部活ができてよい。  
\*行政やスポーツ少年団等でスポーツをする機会を提供してくれ、地域とのつながりができている。だいる倶楽部を通じて、

【悪い点】  
\*「ゆとり」を作ろうとしてなおさら忙しくなっているようだ。生活が走り走りになっている。時間に追われて疲れているようだ。  
\*中学校では5教科に時間をとるため、芸術や体育等の時間が少なくなり子どもたちは残念に思っている。得意な子どもたちが自分の好きなことをやれないでいる。  
\*やりたいことをやっている子はやっているが、や

### 『学校週5日制を考える懇談会』開催!

今年度から始まった学校週5日制。9カ月が過ぎた今、学校が、子どもが、家庭がどう変わったのか、現在の問題点や今後の方向性などを話し合うため、先月3日、公民館で、『学校週5日制を考える懇談会』が開かれ、当日は、教育関係者や公民館関係団体の代表などが参加し、3つに分かれたグループ別討論では活発な意見が出されました。

学校5日制が始まり、  
\*「充実」の中に「ゆとり」があることが望ましいが、現状ではゆとりが一人歩きしている感じがある。  
\*小学校における子どもたちの生活、学力共に昨年と比べてもはっきりと変化したところは見られない。5日制の基本的な考え方

にもあるように「生きる力」を育むためには子どもたちに積極性を求めるが、現在はまだ欠けている子どもが多い。1、2年後子どもがこのように変化したらぞーと見られるように学校も取り組んでいかなければならないと考えている。

大人たちが子どもたちのことを考えるようになり、大人の意識向上の成果があったように思う。  
\*部活については、現在部活の時間とプライベートの時間を上手に使って、逆に充実した生活をしていると感じる。



## もちつき大会とミニコンサートの巻

11月30日、和納小でもちつき大会が行われ、大勢の児童と保護者が参加しました。今までは祖父母学級の中で行われていた恒例のもちつき大会。今年はPTAが主催し、家族みんなでの参加となりました。当日は、教頭先生がパンマスを務める「和小モーニング娘11人嵐バンド」の華やかなステージで幕開け。本間千義先生のギターや大岩稔さんのケナーの演奏などで、ひとしきりミニコンサートを楽しんだ後、いよいよもちつき大会。保護者と子どもたちは一緒になって、

